

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	公的扶助論		
担当者(Instructors)	西尾 敦史	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■ 授業の目的と概要(Course purpose/outline)			
<p>現代社会における「新しい貧困問題」が注目されている状況のなかで、特に講義の目的は、第1に社会問題を的確に捉えることによって、公的な援助システムとしてのセーフティ・ネットがどのように機能しているのかを理解できることにある。そして、第2は、システムとしての生活保護制度を中心に、その法体系と制度を克明に検討しながら、かつそれ以外の関連として、貧困の歴史の再発見や制度の問題点を引き出ししながら、貧困を解決する社会福祉の方法について、授業中でのレポートの添削や質疑応答によって理解を深めることにある。</p>			

■ 授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義を中心とするが、授業の内容に応じて、ディスカッションおよびグループワークを取り入れる。

■ 各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	低所得者層の生活実態（イントロダクション）	貧困・低所得者層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢について、コロナ禍で深まる生活困窮、経済状況などをとおして知る	<input type="checkbox"/>
第2回	生活保護制度概要Ⅰ（目的、原理、原則）	公的扶助制度の概要について、生活保護法の歴史、目的、原理、原則をとおして学ぶ	<input type="checkbox"/>
第3回	生活保護制度概要Ⅱ（種類、内容、実施機関と実施体制、財源）	生活保護法の種類、内容、方法、保護施設、権利及び義について把握する	<input type="checkbox"/>
第4回	公的扶助と社会保険	国民皆保険・皆年金体制のなかの「低所得者対策」について、公的扶助との関係において学ぶ	<input type="checkbox"/>
第5回	生活保護の扶助と給付Ⅰ（生活扶助を中心に）	生活保護の8つの扶助について、特に生活扶助と他の低所得者対策の関連について学ぶ	<input type="checkbox"/>
第6回	生活保護の扶助と給付Ⅱ（医療扶助を中心に）	給付額の半分を占める医療扶助の現状と課題について、健康保険（社会保険）との関連において学ぶ	<input type="checkbox"/>
第7回	生活保護の扶助と給付Ⅲ（教育扶助を中心に）	教育扶助の給付内容とその意味について、高校・大学も視野に入れて、低所得者対策との関連において学ぶ	<input type="checkbox"/>
第8回	生活保護の扶助と給付Ⅳ（住宅扶助を中心に）	住宅扶助の給付内容とその意味について、住宅手当、公営住宅等の他の低所得対策との関連において学ぶ	<input type="checkbox"/>
第9回	ひとり親世帯と生活保護	相対的貧困割合が高いひとり親世帯にとっての生活保護制度の意味について、諸外国の制度との比較を行い、その他の低所得対策との関連において学ぶ	<input type="checkbox"/>
第10回	高齢者の所得保障と生活保護	高齢者の所得保障としての生活保護の意味について、年金制度等との関連において学ぶ	<input type="checkbox"/>
第11回	障害者の地域生活支援と生活保護	障害者の地域生活支援における生活保護の意味について、他の障害者支援施策との関連において学ぶ	<input type="checkbox"/>
第12回	生活困窮者自立支援制度	生活困窮者自立支援制度について、生活保護との関連から学ぶ	<input type="checkbox"/>
第13回	福祉事務所の機能とケースワーカーの職務	福祉事務所の機能とケースワーカーの職務について、福祉川柳事件などのトピックをとおして学ぶ	<input type="checkbox"/>
第14回	諸外国の生活保護制度	諸外国の生活保護制度との比較をとおして、日本の生活保護制度の特徴について考察する	<input type="checkbox"/>
第15回	公的扶助の今後の課題	公的扶助の現代の動向と課題を取り上げて理解し、「生活保護解体論」（岩田正美）の議論から考察する	<input type="checkbox"/>

■ 授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)			
---	--	--	--

授業前に主だったキーワードについて調べる(2時間程度)。講義後、事前に調べた自分の資料、講義内容、配布プリント、参考図書等を活用し内容を整理しまとめる(2時間程度)

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

Teams上に提示する授業内課題、小テスト、および記述式課題については、翌週(次回)の授業の冒頭にコメントをし、フィードバックを行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019人間健康DP2	福祉社会の中でも特に貧困、生活困窮者支援における問題意識を持ち解決方法を探究できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

各授業回ごとに、Teams上に、授業内課題、小テスト、および記述式課題を掲載するので、授業翌週回までに提出すること。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	社会福祉士養成講座編集委員会『低所得者に対する支援と生活保護制度 第5版』中央法規出版株式会社、2019年	
2	岩田正美『現代の貧困ーワーキングプア/ホームレス/生活保護』ちくま書房	
3	岩田 正美『生活保護解体論ーセーフティネットを編みなおす』岩波書店、2021年	
4	副田 義也『生活保護制度の社会史 増補版』岩波新書、2014年	
5	湯浅 誠『反貧困: 「すべり台社会」からの脱出』岩波新書、2008年	